

教科	数学	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
0章 算数から数学へ [整数の性質]	3	<ul style="list-style-type: none"> 九九表の数の並びから、いろいろな法則を見だし、説明することができる。 自然数をいくつかの数の積で表すことよさや素因数分解の意味を理解する。 素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然数をいくつかの数の積で表すと、もとの数の約数や、もとの数がどんな数の倍数であるかがわかることを理解している。 素因数分解の意味を理解している。 素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 九九表の数の並びから、いろいろなきまりを見だし、説明することができる。 九九表を縦2ます、横2ますの正方形で囲むと、斜めの数どうしの積が等しくなる理由を考え、説明することができる。 九九表の数を素因数分解した結果から、九九表の数が1と素数の2, 3, 5, 7の積だけでつくられていることを見だし、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだそうとしている。
1章 数の世界を広げよう [正負の数]	25	<ul style="list-style-type: none"> 正負の数の必要性和意味を理解する。 正負の数の四則計算をできるようにする。 身のまわりの問題を、正負の数を利用して解決することができる。 絶対値の意味を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 正負の数の必要性和意味を、具体的な場面と結び付けて理解している。 正の数と負の数の四則計算をすることができる。 具体的な場面で正負の数を使って表したり処理したりすることができる。 絶対値の意味を理解し、絶対値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数で学習した四則計算を応用し、正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 身のまわりの具体的な場面で、正負の数を利用して問題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正負の数の必要性和意味を理解しようとしている。 正負の数について学んだことを学習に生かそうとしている。 正負の数の大小を、絶対値を使って考えようとしている。
2章 数学のこぼれを身につけよう [文字と式]	18	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いることの必要性和意味を理解し、具体的な数量を、文字を使った式で表すことができる。 文字を使った式の規約を理解し、それに沿って計算ができるようにすること。 等式、不等式の意味を理解し、数量の間の関係を等式や不等式で表したり、等式や不等式が表す数量の関係を読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いることの必要性和意味を理解している。 1次式の四則の計算方法を理解し、計算ができる。 数量の関係や法則を文字を用いた式で表したり、式が表す数を読み取ったりすることができる。 数量の間の関係を等式や不等式で表し、読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1次式の加法・減法の計算方法を考え、説明することができる。 文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いることの意味やよさに気付いて、問題解決に活用しようとしている。
3章 未知の数の求め方を考えよう [方程式]	14	<ul style="list-style-type: none"> 求めたい数量がある問題を、既習の内容を活用して解決することを通して、方程式の必要性を理解する。 方程式とその解の意味を理解し、文字に値を代入して解を求めたり、等式の性質を使って方程式を解いたりすることができる。 具体的な問題を、方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 方程式とその解の意味、必要性を理解している。 等式の性質を理解し、それらを使って方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 等式の性質を使って、方程式を解く方法を考察し表現することができる。 方程式を利用して、具体的な問題を解決することができる。 具体的な場面において、解を吟味して解答としてうまいかを判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 方程式について粘り強く考えようとしている。 方程式を生活や学習の具体的な問題の解決に利用しようとしている。
4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう [比例と反比例]	14	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの問題を、関数の考えを利用して解決することができる。 関数の意味を理解する。 具体的な事象の中から2つの数量に着目し、それらの変化や対応を表、グラフ、式を用いて調べることによって関数関係を明らかにする。また、問題解決に活用できるようにする。 身のまわりの問題を、比例のグラフを利用して解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数関係、座標の意味を理解している。 比例・反比例について理解している。 座標の意味を理解している。 比例・反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 比例・反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 具体的な事象の中の数量の関係を比例とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数関係・比例・反比例について粘り強く考えようとしている。 比例・反比例について学んだことを生かして、問題解決しようとしている。

<p>5章 平面図形の見方をひろげよう [平面図形]</p>	<p>17</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平行移動, 回転移動, 対称移動の意味とその性質を理解する。 ・2つの合同な図形の関係を移動の見方で捉え, 説明することができる。 ・作図における定規とコンパスの役割と使い方を理解し, 簡単な作図ができる。 ・垂線, 垂直二等分線, 角の二等分線を作図する方法を理解し, 作図することができる。 ・身のまわりにあるものを円とみなして, その円を等分してできるおうぎ形に着目し, 弧の長さや面積が中心角に比例することを理解し, 弧の長さや面積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平行移動, 対称移動, 回転移動について理解している。 ○平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 ○垂線, 垂直二等分線, 角の二等分線などの基本的な作図する方法を理解し, 作図することができる。 ○おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図形の性質に着目し, 基本的な作図の方法を考察表現し, 表現することができる。 ○基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平面図形の性質や関係を捉えることについて粘り強く考えようとしている。 ○基本的な作図を活用して問題解決しようとしている。
<p>6章 立体の見方をひろげよう [空間図形]</p>	<p>18</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3次元空間での事象に関する問題を, 具体的な空間図形の問題として捉える。 ・空間図形の問題を解決するために都合の良い模型を作り, いろいろな向きから観察する。 ・解決に都合のよい平面図形を見だし, 目的に応じて見取図や展開図, 投影図などに表す。平面上に表された空間図形の性質を読みとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○空間内にある平面や直線の位置関係を理解している。 ○立体図形の展開図や投影図について理解している。 ○基本的な柱体や錐体, 球の表面積と体積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたることことができる。 ○空間図形を平面上に表現して, 空間図形の性質を見いだしたりすることができる。 ○立体図形の表面積や体積の求め方を考察し, 表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。 ○空間図形の性質や関係を活用して問題解決しようとしている。
<p>7章 データを活用して判断しよう [データの分析と活用]</p>	<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習のデータの整理や分析の方法を, 問題解決に生かそうとしている。 ・データを度数分布表やヒストグラム, 相対度数の折れ線グラフに表し, 分布の特徴を読み取り, 説明することができる。 ・相対度数の必要性と意味を理解する。 ・代表値や範囲を用いてデータの分布の傾向を読み取り, 説明することができる。 ・不確定な事象の起こりやすさを, その事象の起こる割合や試行の回数に着目して考え, 説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒストグラムや度数折れ線の必要性と意味を理解している。 ○相対度数や累積相対度数の必要性と意味を理解している。 ○代表値の必要性と意味を理解している。 ○データを表やグラフに整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じてデータを収集して分析し, そのデータの分布の傾向を読み取り, 批判的に考察し判断することができる。 ○多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして, 不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り, 説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒストグラムや相対度数について粘り強く考えようとしている。 ○ヒストグラムや相対度数について学んだことを問題解決に生かそうとしている。 ○多数回の試行によって得られる確率について学んだことを問題解決に生かそうとしている。